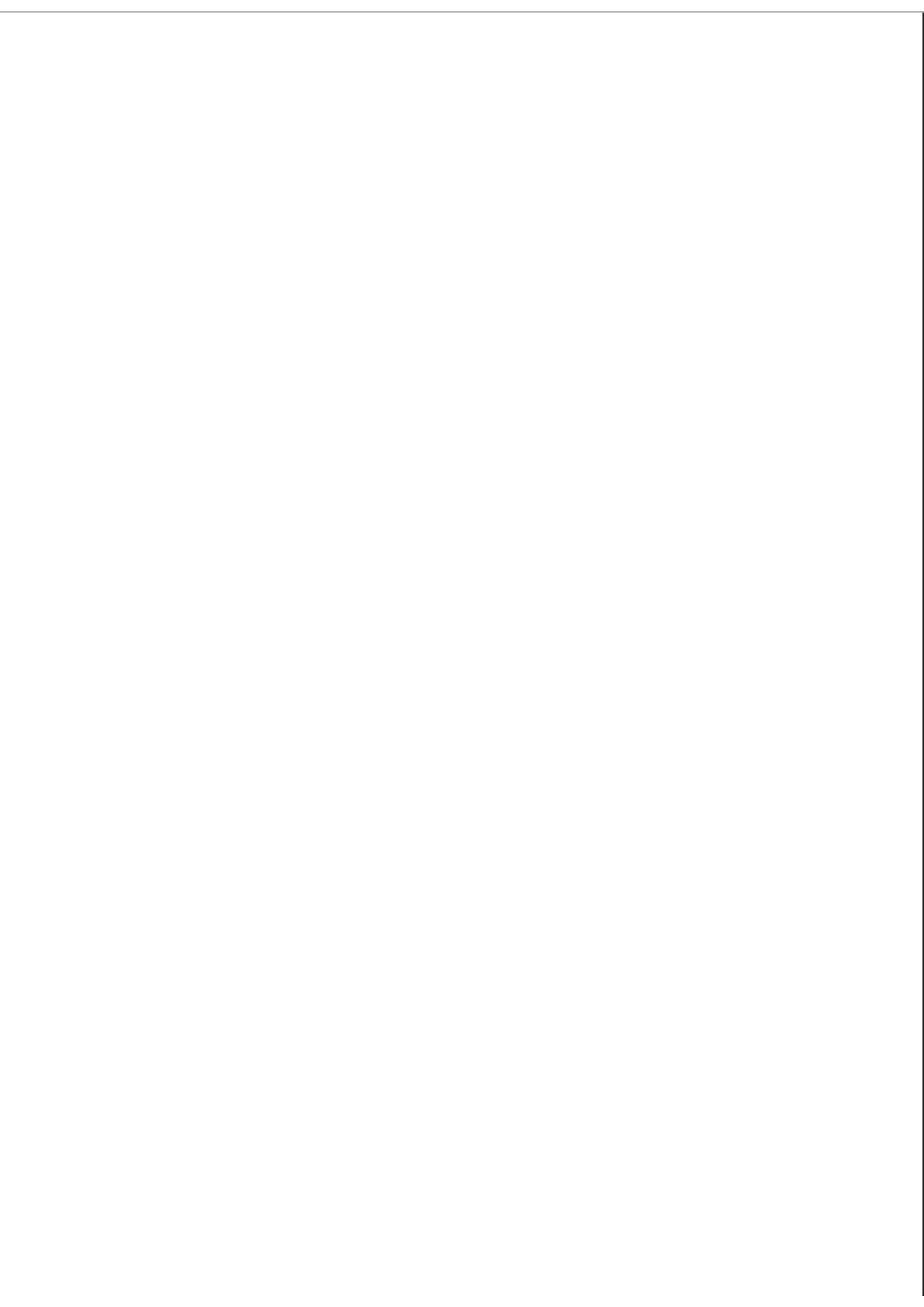


ビーチライフガード
海浜救命士
三十路白熊女

初めての恋

R-18



これから
仕事開始よ！
部下たちに
指示するよ！

まずは海岸を
歩き回って監視パトロールよ！
溺れている者やマナーの
悪い者がいないか見回ってよ！
必ず怠らないでな！
今日も海岸の安全や
美化を守ろう！

了解！

あのリーダーさん
ちよっと
いいですか？

実はね…ロッカーの鍵を
うっかり落としちゃって…
合鍵とかありませんか？

合鍵は休憩室にあるから
一緒に行こうか？
あとで紛失費を出して
もらうけど、大丈夫なのよ？

部下たちに
悪いと思うけど
黙っている「秘密」がある

れろ♡

私に「彼氏」がいること……

しかも年齢は私よりひと回りの年下……
付き合い始めたのは先月頃……

さつき 彼氏が私に見せた

両手の指を突き合う動作は
彼氏が私とイチャイチャ
したい時に使う合図で

部下たちにバレないために
事前に私たちが打ち合わせをして
決めたサインのひとつ。

ぎゃん♡

んん♡

もちろん私とその合図に依ってあげた
彼氏の名前は……

む

じゅん

湾太くん？

はあ！

はあ……

ねほあ♡

キスしてたら
海凧さんのおっぱいを
揉みたくなって
きちゃったよ……

ドキ

いきなりだけど
揉んでいい？

ドキ

かあああ

ドキ

ドキ

先月



誰か助けて!!

ババババ

あがあが
足が
あつた
あつた



私に
任せて!

アッ

そこで
待って
いなさい!



あそこです!
彼氏が溺れてますよ
助けてください!

だれか
だすけ
てあ〜!

ババババ



ようやく
気が付いたね
この恩を
忘れません!

ありがと
ございます!



パチン...

...



ああ...やっと
助けに来たか
助か...

あれ...目が
暗く... まさか
間に
合わなかったのか...



ババババ

ババババ



“ある壁”とはー

私は頑張ってきた自分を 誇りに思える だけど“ある壁”に ぶつかって悩んでいる...

...という経緯で 私の頑張るといいう態度が評価されて リーダーまで昇りあがって 今は新しく入ってきた部下たちを 持ち、育てる立場になっている

私の年齢が…

三十路

になったばかり…



しかも
独身
恋人歴経験なし

私が真面目に仕事に専念するあまり
恋人を作る機会をとろうとしなかった…
かつての仲間たちが恋人を作ったり
結婚して辞めて去ったし…



ライフガードを辞めて恋人作りしたいけど
今頃は仕事が忙しいシーズンだし
部下は入ったばかりでリーダーを
任せる余裕がない…



はあ…
どろろ…



あのお…



あ…ああ…

あ…

恋人ってこんな…
彼氏と彼女である
自分の淫らな行為を
しなければならぬ
とは…

私の想像以上だわ
時代が変わるものね
死にそうなほど
恥ずかしいよ！
湾太くんの告白を
きっぱり断って独身の
ままでよかったかも…



え…あ ごめん！
つい海漂さんのおっぱいが
凄く迫力だから…
思わず見とれちゃって…



そんなキラキラな瞳で
見られると
恥ずかしいけど…



ジロジロ見るの
やめてもらえない？



マリん
海凜さんのおっぱいが
大きいから...それに

ご...ごめん...



私のおっぱいを見るだけで
射精するのは...凄い量...

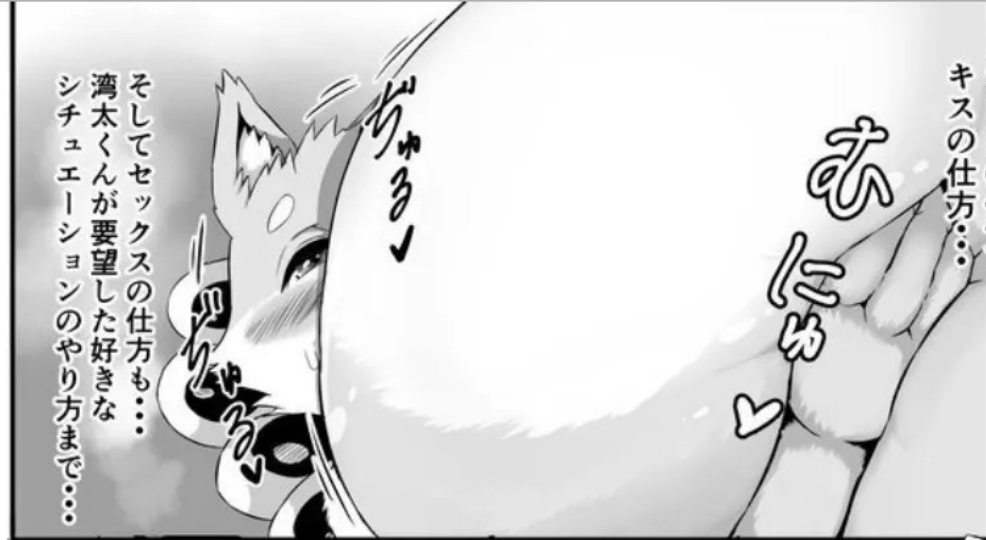
って射精のの
早過ぎないの!?
我慢はできなかったの?

ねばあぁ

どろお



僕には刺激が強すぎて
美しくて魅力だから...



そしてセックスの仕方もある…
湾太くんが要望した好きな
シチュエーションのやり方まで…



付き始めた頃は
恋人の知識がひとかけらも
無い私に湾太くんが親切に優しく
いっぱい教えてくれた
手のつなぎ方…
デリトの仕方…
キスの仕方…



えーと…たしか…
湾太くんを
赤ちゃんのように抱いて
私のおっぱい片方を
湾太くんが吸わせて
もう片方はベニスの上に
乗せ重ねながら私の手で
シコる…

私の乳首と
湾太くんの
龟头を

触れ合わせて…
離れないようにね…

湾太くんの乳首吸いが
激しいな…



湾太くんは
おっぱいがそれほど
好きなんだね…

私は凄く恥ずかしいから
おっぱいを見せるくらいでも
嫌だったけど…

湾太くんが喜ぶと
まんざらでもなくて
嫌だと思わなくなる…
どうしてかはわからない…

ああ♡
♡

射精するうう
ああああ♡

モキモキ

おん

おん

ははははは

に…三回目なのに
精子の量が増えて…
質も濃くてとろみも強い…

おん

おん

おん

じろろ…

な何見てるの!
しかも笑ってて…

いや 海凜さんが
僕の精液を飲むとこ見たくてな
顔がエロかったな
舌もよだれも出てたし

見るのやめてよ!?
恥ずかしくて
飲めないのよ!

ドキ♡

舐めたり口にして
はあ味を占めで
飲みたくなる…

汚いと思うのに
よく見れば見るほど…
臭いを嗅げば嗅ぐほど

はあ

どうおホ



そんなにじっと
見つめないで
恥ずかしいよ

かあ
ドドドド

おほ...
ああ...
ドドドド
凄...

もにゅう

もにゅう

ぐい

ぐい

むわあああ♡



鼻の呼吸が激しい...舌を出してる...
よだれの量も凄い...

私の股間を見つめてる...
湾太くんの鼓動の音が大きくなってる...
私の耳までに聞こえてくる...

湾太くんの目が真剣に
すぐく血走って

海漂さんの
女陰って綺麗だし
黒ずんでなくて
まだピンク色...
処女に近いね...

私はまだまだ
処女だからよ!

どう見ても
三十路だと思えない
くらいだな

年齢のこと
言わないで!





パキーン...

ん...



あっ
大変!

びく
びく
びく



……?
湾太くんの舐め合いが
止まってる……?

どうがした……



私の太く強い脚のせいで
湾太くんを窒息させちゃったのよ!
君の頭を支え過ぎて……

そうか その時
息が出来なくなって
苦しくて目が
暗くなったんだな

そう 湾太くんの命を
落としてしまうとところだった
私の不手際よ!
本当にごめんなさい!



あ
湾太くん!
大丈夫!?

海凜さん……?



ありがとう

……え?
何て!?



やはり私たちは似合わないから
別れた方がいいかしら……

私には資格なんて無い
ライフガードとしては失格だ……

命を救うべきなのに
目の前で大切な命を
落としかねないことになるなんて

グズ……



また僕を
救ってくれたん
じゃないか!
あの時みたいに
今度で2度目だね



だから お礼を
言ってるさ
ありがとうって



えっ覚えてないの!?
海凜さんが覚えてる
かなと思ってた...

ごめんね
私にはそのような
記憶は無いけど...

"また"...?
"2度目"? "あの時"??
私たちって前に
会ったことあるの?



!...今の光景はなに...
知ってるような気が...



僕の作り込みが
甘かったせいで
ガムテホテでくっついた
ペットボトルが分解
して

よく聞いた瞬間 私の中で
"あの時"に関する記憶が見つかって
はじめは曖昧だった記憶が
だんだんと明瞭に思い出ししていく

海の中へ落ちて
溺れた

湾太くんが語り始めた
私と関係あるらしい
"あの時"のことを

ペットボトルで
創り上げて...



じゃ...じゃあ
"あの時"のこと話すから
よく聞いてね?
多分思い出すかも

たしかに
10年以上の前だったね...





あの人気の優等生が
あなたに告白したそうよ!?

あたしは彼が好きで告白しようと思っていたのよ!
彼の気を惹きつけるために
優しいアイドルを演じて
あなたのダサいでかい体型を利用して
ダチにしてやったのよ!
結局はなんであんたの方に
告白したことになるの!

あなたのせいで
あたしの計画が無駄になった
絶交よ! 目障りだから
学校に二度と来るなよ!
来たらいじめてやるから!



先に
旅立つことを

お母さん……お父さん……
生きるのが辛くて
もうだめなんです……
許してください





再会を
喜びたいと
思っただけ
かけようとしたけど

あ…

あえてやめた

なんでかというところ、じいちゃんのことを守ったから

真剣に頑張る奴は何か達成したい目的を持っておって邪魔されるのが嫌だと思っから

声をかけてはいいかん
声をかけて良いときは
その奴がくたびれている時だけ
くたびれる奴は
助けてほしくなるからじゃ
それまで忍耐強く待つが良い
海凜さんの後ろ姿が真剣ぶりに
見えたし…
本当はじいちゃんの教えを破って
声をかけたかった…



声をかける時がやってくるまで
待ちながら海凜さんが働いてる
ところをこっそり見ていた

そのうち海凜さんの頑張る姿が
思わず美しく見えて
気持ちが変わった…

憧れから
好きへ

本当にありがとう

お前さん

お前さん

お前さん

お前さん

お前さん

お前さん

お前さん

お前さん

お前さん

声をかけないうち海凜さんが
いなくなるのか不安から
時間を待ちたくなつて
先月 僕が告白する前…

海凜さんがくたびれて…

はあ…

どうしよう…

じた

いや…
暗くてがっかりしている姿を
見て…



じいちゃんの教え通り
忍耐強く待っていた時は
すごく不安だったけど
勇気を出して告白して
良かったと今は思う！



僕の頭の上に降りたような気がした
声をかける……

いや 僕の気持ちを込めて告白するチャンスが！



どおかしゅん ぐんぐん



あ……あ……
ありがとうございます……
湾太さんの気持ち
すごくうれしい……

見てくれていた
近くで……

湾太君が私のことを

ぽろ

ぽろ
ぽろ



まりん
海凜さんの顔が…
笑顔になってる!

え? 笑顔?

口が笑ってる
鏡はどこ…
あった! はい
自分で見てね?



ハオ
オン
聖母
マリア

お…お世辞
上手ね…



お世辞じゃない
本当の本音だよ!



海凜さんの
笑顔って
凄く良いっ!
より可愛くて
美しくって
優しい…

聖母マリアって
感じだな!



笑顔になるの
生まれて初めてだわ!

顔が本当に
笑ってる

あー
ほんとうだ!

これって何という…
奇跡としか思えないね

神様が与えて
くださったような…

こっそり
見ていた間に
溜まっても
言いたくても
言わなかったこと

全部言うから
よく聞いて!!

あきらめずに
一生懸命に頑張ってる
ところが好きだ!

困ってる者や弱者に
優しくする
優しいところが
好きだ!

仲間から部下からの
信頼が厚くリーダー業務を
こなす海凩さんが
かっこいいから好きだ!
真のヒーローみたい!

好きだからこそ
海凩さんの恋人になって
海凩さんのためなら
優しくしてあげたい!

僕より体型が大きくても太くても
優しく包まれるような柔らかい弾力があって
むっつりとした魅力的な身体だから
すっごく好きだ!抱きたい!



言い過ぎたんだね
ごめん!

えっうん
凄くうれしいから...

ん?

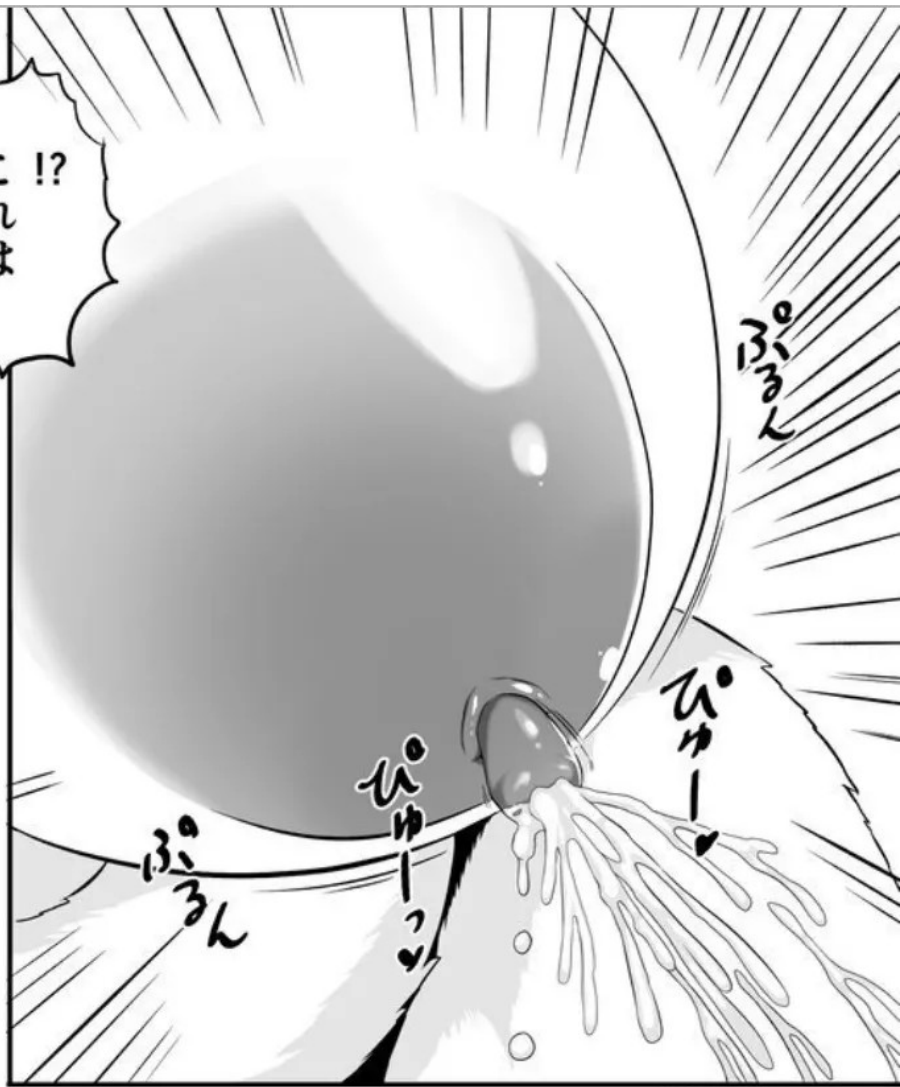
あ、
言い過ぎちゃった?
いけない言葉も
混じっちゃった...

おやっ



ぼっ母乳っ!?

!?
これは



びゅん



出ると
いうことは
まさか...

私は誰とも
体験したことない
処女だし 赤ちゃんを
産んだこともないのよ!
私だっけどうして母乳が
出るかわからないわよ!

びゅん

びゅん



つまりね... 海凜さんが
僕を好きだから母乳が出たん
じゃないのかと思う...

その時 サーチしてたら
最新の研究結果で珍しいケースが
目に入った...
母乳が出るのは心から好きな人に
対して自分の母乳を飲ませたい
本能が醒めた合図であると...



大丈夫
海凜さんの
言うことは
本当だと信じてるから

一度妊娠しなくても
体質によって
母乳が出る例があると
サーチして知ってるよ



あの時 湾太くんの笑顔が
悲しい絶望に落ちた私に
"生きる希望"を与えてくれた

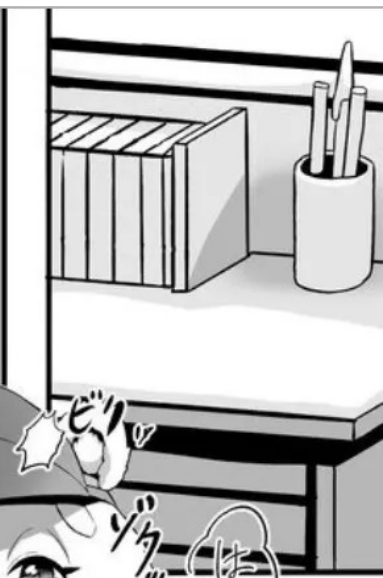
私 湾太くんが
本当に好きだから
湾太くんの童貞を
もらいたい♡

今度は

私が湾太くんに恩返しする番

私の母乳を飲んで
初処女をもらってくれるね？

フゥー
ドゥウクゥ♡





自分の味はどう？
おいしいでしょ？

う……うん
ほんとに
おいしい……

好きな彼女から
毎日市販より自然で美味しい母乳を
搾って飲めるなんて思わなかった

はああ
ああ
ああ

海凜さんが僕の彼女で
良かったよ！幸せだし
こんなうれしいことはない！



と……ときめくこと
言い過ぎよ……
これ以上ときめかせないで……
壊れそうなのよ……

はあああ
しゅうう……

だって 海凜さんが大好き
だからな！大好きすぎて
毎日抱き続けたいくらいだよ！



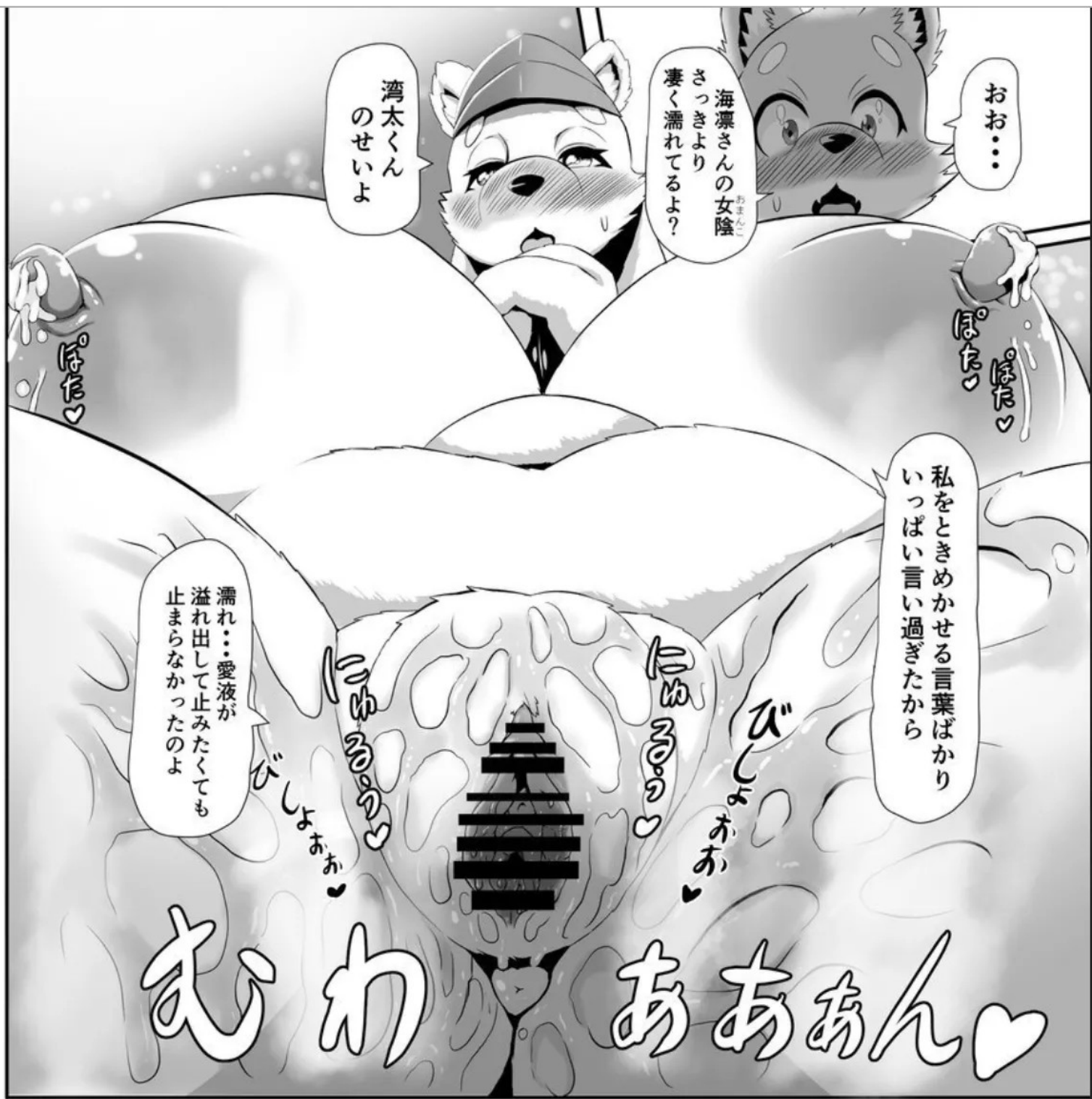
どのくらいかと
言うからね……

銀河より広い
スケールだな……
いや それより
無限大に広がり続けるって
感じだな！

そっそこ
ハードル並外れに
上げ過ぎてないの！
世界じゃなくて!?

海凜さんを愛する
気持ちは誰にも
負けたくないんだからな
照れるとこが
すごく可愛いよ
三十路とのギャップが
あるから可愛さが倍増だ

やめて言い過ぎよ
年齢は言わないで
僕たちは恋人だから
良いじゃんか！



おお…

海凩さんの女陰
さっきより
妻く濡れてるよ?

湾太くん
のせいよ

私をときめかせる言葉ばかり
いっぱい言い過ぎたから

濡れ…愛液が
溢れ出して止みたたくても
止まらなかったのよ

むわ あああん♡



わかった
ゆっくり挿れるね



乞う海凩さんが
可愛すぎて
胸が裂けそうだ!



私は
初めてだから
すぐは怖い

だからゆっくり
挿入れてくれる?



カチャカチャ

あら？
鍵かかっているよ？

いつもはリーダーさんが
先に鍵を開けて
入っているのに
もしや 外での仕事が
まだ終わっていないかしら？

オイラ 合鍵
持ってるぜ
開くからちょっと
どいてな！

しっしま
時間を忘れてた
部下が入ってくるまゝええええ

カチャ

ほら
開いたっ！

どきどき



どきどき



さあ 休憩に飯…

だあおおっ!!
こりや驚いた!
部屋全体が綺麗に
なってるぜ!
一体 誰がやったんか？

わあ ほんとうに
綺麗だわな!
清潔感がたっぷりあって
すっきりするよね

リーダーさんが
やってくれたの
じゃないかしら？

ピカ

ピカ

キラ

キラ

ピカ

キラ

カチャ

そうだったら
姉御さんに感謝して
飯食おうか!

賛成だ〜!

今の凄かった
僕を抱えながらも
部屋を掃除したり
片づけたり...
ここに隠れ込むまで
音を立てずに素早く...
忍者みたいだ...重力に
耐えられさそうだった
海凛さんはすごい神業を
持っているんだ

むわあん

こっちはまだつながつてるままだ...

ゆる...

海凛さんに
部下たちが去るまで

じっとして
我慢してって
言われた...

バレていないようだな...
部下たちが去るまで

このまま...

ふー...



わかってるけど
したくて
どうしても
我慢できないよ

ごめん
いかせてよ



わ...湾太くん!?

何してるの!
部下たちが去るまで
我慢してと...

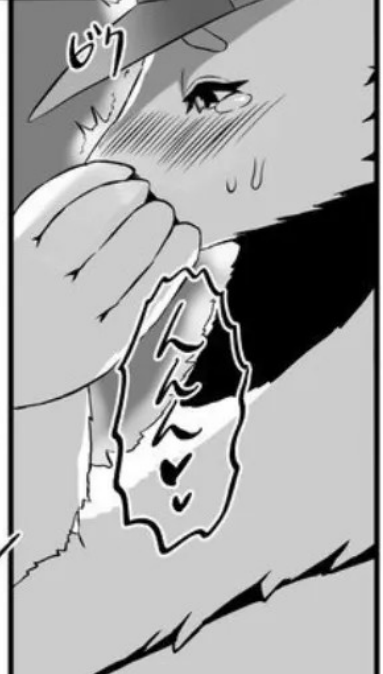


だ...だめよ!

バレたら
どうするの!



えもう
射精するの!?
早過ぎー







おお...

お尻ばかり触ってるけど
湾太くんはおっぱいだけ
じゃなくてお尻も
好きなの？

わんた
湾太くん？

ぼた...

ぷん...

こっちもすげえ
もちもちのように
柔らかいな...

わんちゃん

とろおあん♡

もみで



いやあ
海凜さんのお尻
意外に柔らかくて
触り心地が良い
見とれちゃってね

デカさが魅力で...

大きさのと言わないで！
恥ずかしいよ！

いや 僕は恥ずかしいとは思わないけど...

とりあえず挿入する
ゆっくりじゃなくても
良いの？

うん 慣れたから
思いつきりで
いいよ

わかった じゃあ
遠慮なく挿入
させてもらおうね！

ぐい

とろお♡



私たちの年齢の差は大きいでしょうか？

ん？
いいけど……

湾太くん
悩んでること
いい？

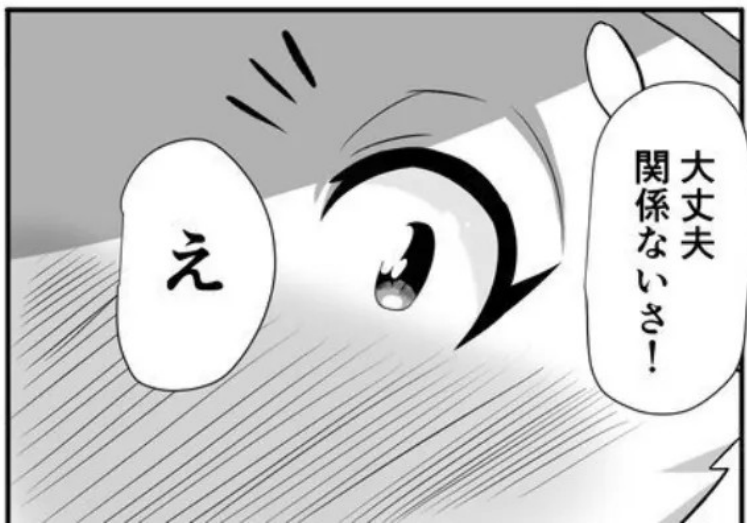
はあ

はあ

おばあちゃん
何回

おばさんみたいな年齢は嫌とは思わないの？
そうなら私が湾太くんと同じ年に生まれれば……

気が重い話になつてごめん
私は年齢を気にしすぎるよね



え

大丈夫
関係ないさ！





ああああああ

ドクダク

ブブブ



でも…恋人SEXって
素敵すぎる♡♡♡
毎日したい♡♡♡

ああ…♡♡♡ 湾太くんの精子が
私の膈の中へ♡♡♡ 奥へ♡♡♡
さらに奥へ♡♡♡
頭が痺れるうう♡♡♡



ああ…♡♡♡
海瀬さんの母乳が
雨のよう…♡♡♡
シャワーのように…

こうして浴びるって
なんて贅沢だ…♡♡♡





湾太くんには嫌なイメージで
迷惑をかけるかもしれない……

体の大ききで周りから
批判されたり

私たちがカップルで
大丈夫かしら……



大丈夫だ



考え過ぎだよ

湾太くんが良ければ
いいけど





湾太くんのおかげで
悩んでた壁をついに乗り越えた…

安心してライフガードを続けられる
そして新しい道も見つかった



やらねちゃった
まいったな

はずかじい
へへへへ…

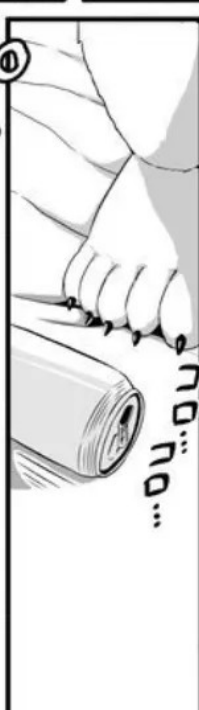
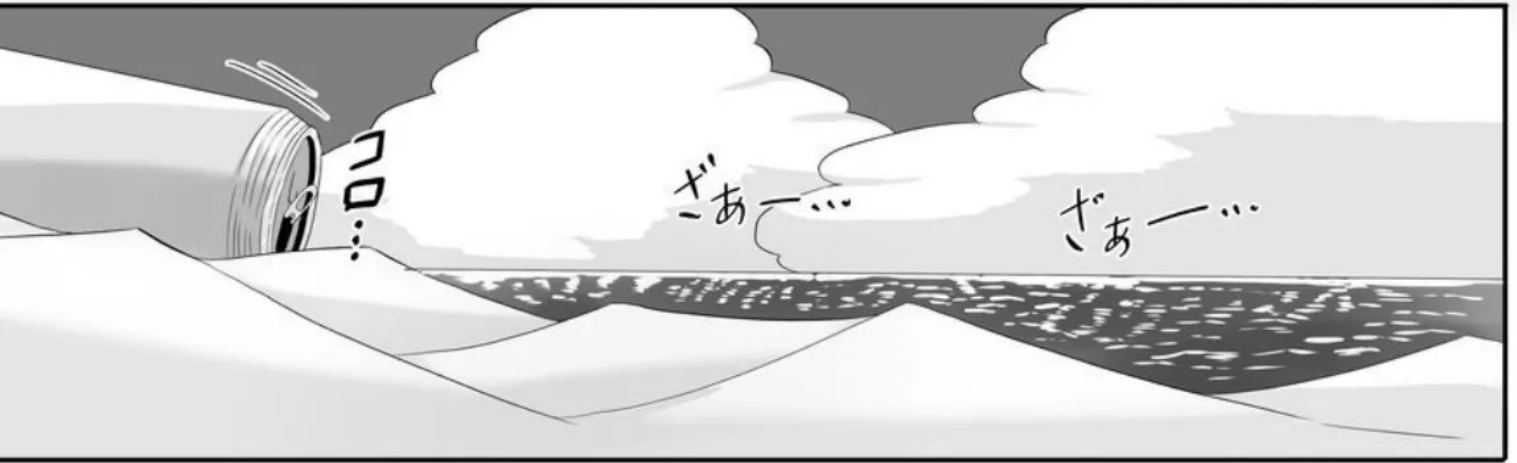


湾太くんと手を繋いで
前に向かって進んで生きたい

神様 私たちの幸せを
どうか見守ってください！

... 6 years later

6年後





さつきから見てるのよ！
明らかにゴミを投げてる
でしょう!?

なんで俺たちが
捨うんだあ？

あー？
ゴミい？



あなたたち
拾いなさい

散らばってる
ゴミを！

あなたが捨てても
誰かが拾ってくれると思うの!?
逆に迷惑なのよ！
自分で捨てるゴミは
自分で処理するのよ！
あの看板にルールが書いてあるの
見なかったの!?



あんなガキみたいなの
看板なんか見る
わけないじゃんか



ハヤ...

ハヤ...



ス...



説得する間にスキ
とられちゃったなあ

そうするとどうなるか
想像できるかあ？

世界中を敵に回したら
手に負えなくなるかもお
SNSは恐ろしいぜ

「遠いところからせっかく
遊びにきた俺たちを
脅かして追い出しやがった
キチガイ鬼ババアがいるから
来ない方がいい」って記入して
SNSに投稿...



ジー
はーい撮った

カ
チャ

保存っと



こっちも
てめえらの態度を
動画撮ったよお
デマに加えられても
こっちの真実の動画を
SNSに投稿するぞ

シッ

ホキッ
ホキッ
ホキッ



かつ監視パトロール
お疲れ様です！
頑張ってください！

二度とゴミを投げないで
自分で持ち帰るよう
心掛けますよっ！



キラ
この通りゴミを拾って
綺麗にしました！
これでよろしいんですか！

もっ申し訳ございませんでした
大変失礼いたしましたっ！

キラ



てめえらに訊く
そっちの動画を消して
俺たちの言うことを聞いて
ゴミを拾うんかあ？

SNSに
投稿した後
俺に駭を叩き
込まれるんかあ？
さあどっちを選ぶかあ？

俺の中の獣が
暴れまくって
抑えられなさそうで
理性が失いそうだ…



ほ

か…



役に立って
良かった

ネット配信で観て覚えた
ヤクザみたいな暴言を
吐いたのはやりすぎだと
思うけどね

いや…

わんた
湾太くん!

キッ



ありがとう

ぱ

あーあ



その…
ちよっといい?

かあぁ…

今日はね…
遊びに来るお客さんが
少ないでしょうね?
海で遊ぶ者は一人もないし…

前は小さかった
湾太くんが今頃は
私より大きくなって
マツチョコだなんて遅しくて
かっこいいわよ!

いやーまだまだ
鍛えたりないんだけどね

ぎゅうん

探しても
ほそかたいよ

カチッ



いいけど…
いいけど…



ぱぱー！まー！
和^{なごみ}海 かえってきたー！
ともだちのうちに
ひとりであって来たよ！

ほー
和^{なごみ}海は
えらいでしょお!?

ああ・・・おかえり
和^{なごみ}海は偉いよ

ぱぱとま
まにしているの？
くっついて

えっ・・・いや
これは・・・

そうそうっ
暇なんだから
ダンスしてるの
ねっあなた？

そっそうだ
時間を潰そうとね・・・

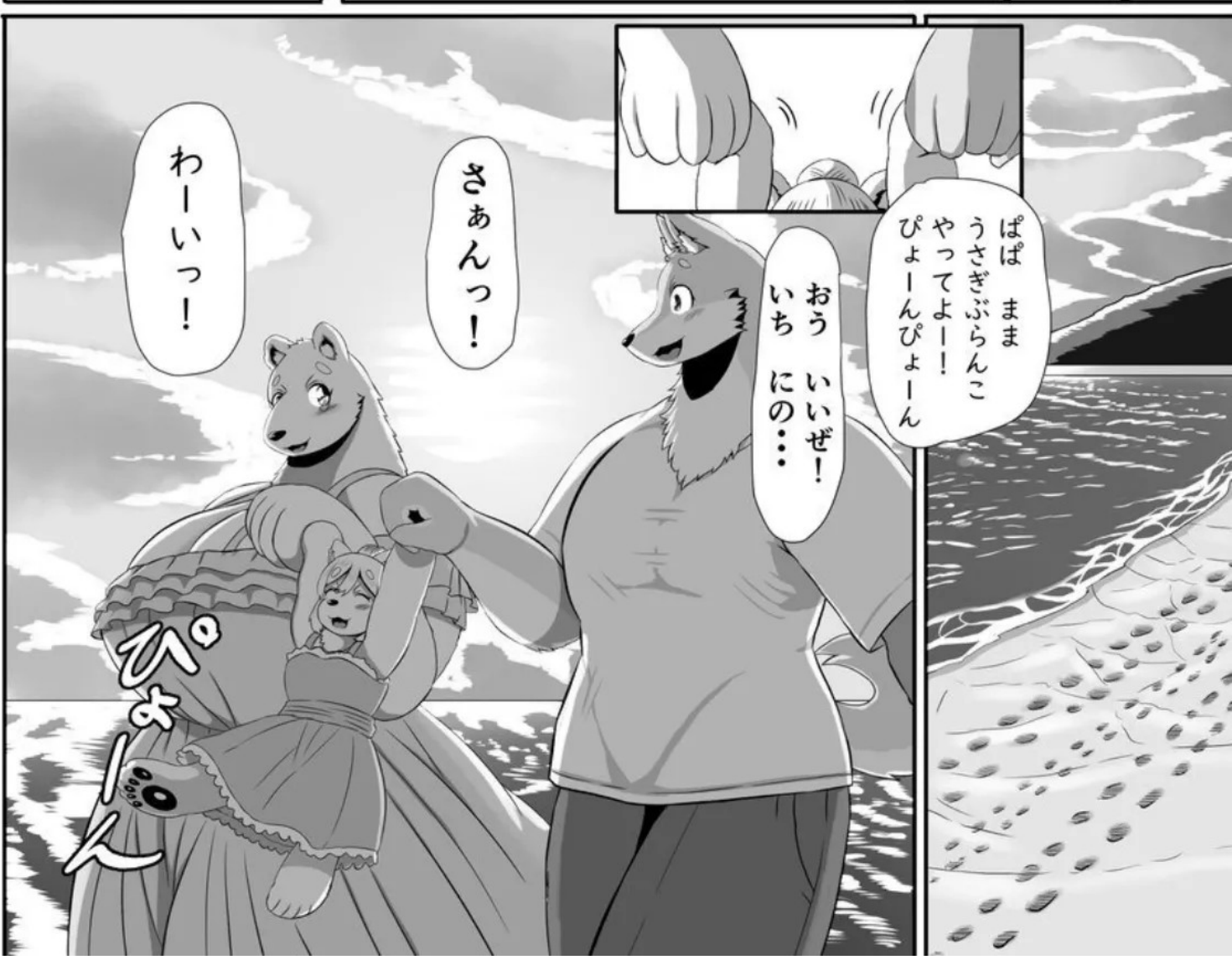
FATHER
Wanta
湾太
MOTHER
Marin
海凜
Nagomi
和海



ダンスやりたいな
あたしも
おどっていい？

もっもちろんだ
親子ダンスは
楽しいんだね
さあ こっちに
きてごらん！

わーい！



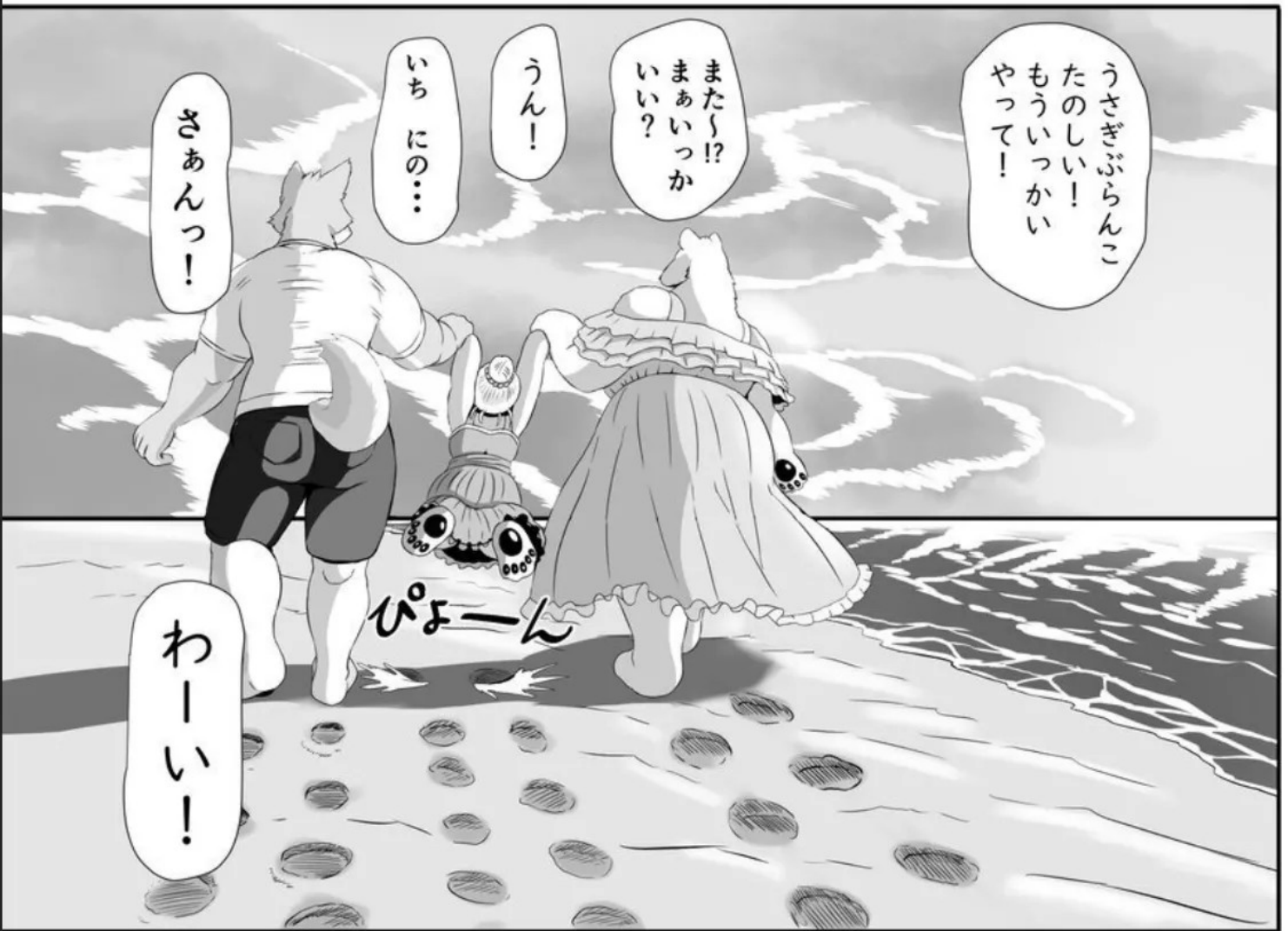
ぱぱ まま
うさぎぶらんこ
やってよー！
ぴよーんぴよーん

おう いいぜ！
いちにの・・・

さあんっ！

わーいっ！

ひょん



The End

次ページからはおまけページで
白熊女・海凜^{まりん}の妊娠ボテシーン 9ページです。
出産シーンも含まれてあります。

犬少年・湾太^{わんた}のキャラ視線を、読み手の「あなた」視線で
眺めるように構想して描きました。

ぜひ、楽しく読んでください！

ねえ あなた…

この大きなお腹の中に
何が入っているのか
わかる？

かああ

フフフ 冗談よ
決まってるでしょうね
私とあなたの

あ・か・ち・や・ん ♡

あなたの射精量がありえないほど
さすがに多すぎるから受精するには
容易過ぎるようね…



あなた…
こういうSEX
好きでしょ？

ズド
ン

はあ
はあ

上下に揺れる爆乳おっぱいと
大きなボテ腹を眺めるシチュエーション
最高でしょう？♥♥

ぽるん♡

ぽるん♡

グラビティ
どんよりとした重力も
重い音もいやらしく感じてるの？
え？もう射精すから離れてって？

…いいわよ このままで射精して♥
あなたの射精の幸せを感じたいから♥
さあ 射精してっボテ腹の中へっ!!♥

ズド
ン

ズ
グ
ッ♡

また私がオーガズムを迎えていったら
まだ出しきれない赤ちゃんが完全に
産まれるかも……

わり

わり

ズブ

ズブ

ズブ

ずる……

とろお……

とろお……

あなた よそ見しないでね！
赤ちゃんが産まれたら
ふわふわバスタオルで
受け止めて！

がっしりじゃなくて
優しくね！
赤ちゃんの身体は
意外と脆いから
気を付けてよ！

オキッパアアアア
赤ちゃんの鳴き声を聞いてやっと産まれた良かったと安心した

この時の私にはそれ以上身体を動かす体力も気力も無かった……

SEXしながら赤ちゃんを産むのに体力を全部使い切ってしまったから陣痛に抗うのにも……

赤ちゃんの顔を見る気力もなくオーガズムの余韻に浸りながら気を失ってしまった

ボテ腹のまま……出産しながらのオーガズムの衝撃が破壊的すぎだから……



目を覚めた時
私はどうやらベッドの上で
寝ていたようだ……



ああ……
私の赤ちゃんよ……

なんて可愛い♡

静かで穏やかな
明るい寝顔……
見ると落ち着くな……

透き通る呼吸の音……
聞くと落ち着くし
気持ちなごが和んで癒される……

うん！ 決めた
この子の名前は……

あなた ありがとう
私が気を失っている間
この子の面倒を見てくれて

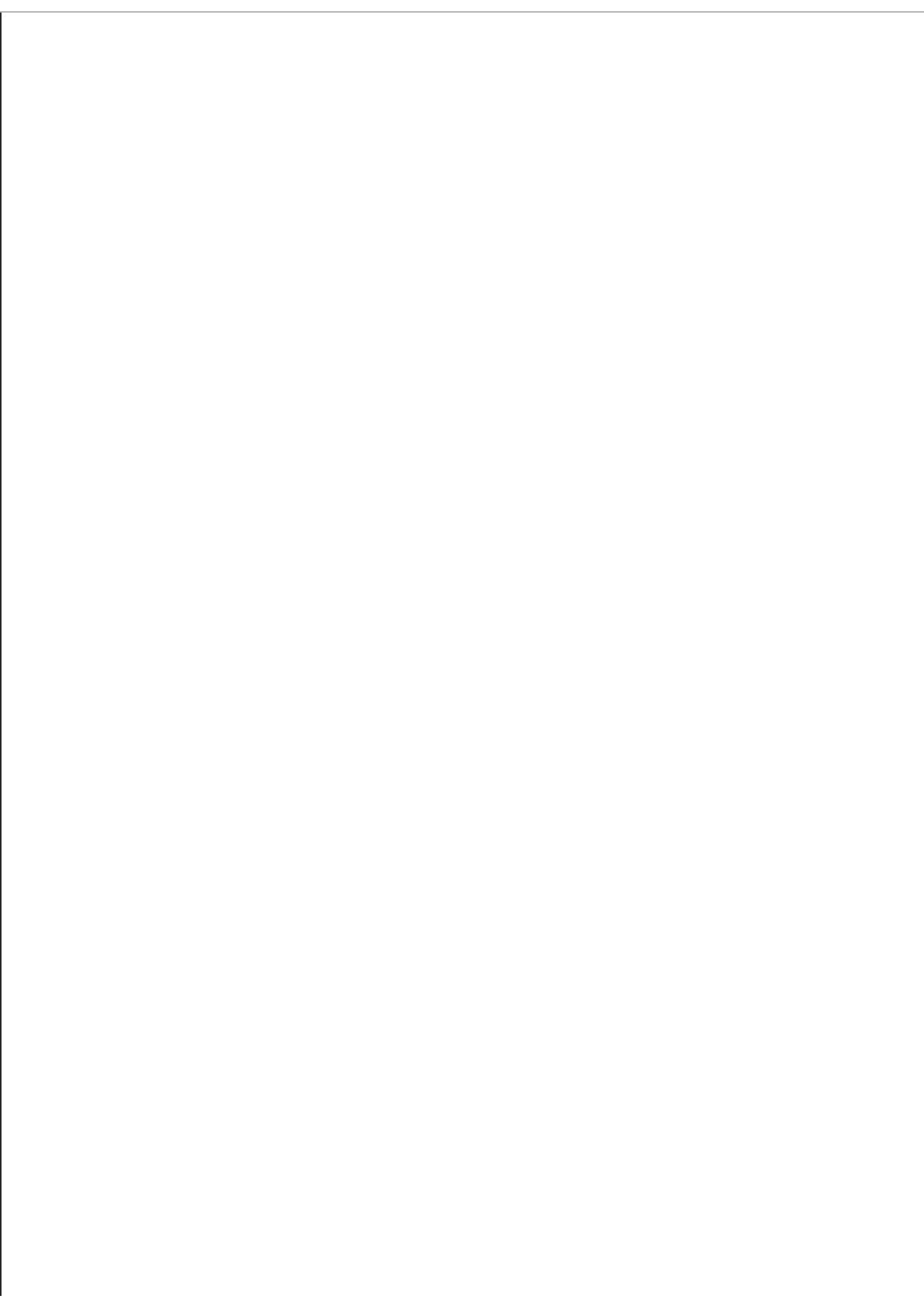
それだけじゃなくて他もあるよ
私を好きになってくれて……
あなたの恋人にしてくれて……

私と結婚してくれて……

愛してくれて……
愛情をもって
孕ませてくれて……

そして
この子のお母さんにしてくれて
素敵な家族にしてくれて

本当にありがとう♡
今でも大好き♡愛してる あなた♡



アザービロチ 001

ご購入
ありがとうございます
Thank you
for
your purchase.

またいつか!
バイバイ~
Also someday!
Bye bye.

発行 2020/09/25